

【がん種】 [乳癌](#)
【レジメン名】 Capecitabine+Lapatinib
【登録番号】 100127
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 進行・再発:PDまで
【催吐性リスク】 軽度:カペシタビン, タイケルブ
【抗がん剤の組織障害性】 -
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少, 好中球数減少, 貧血, 血小板数減少, AST増加, ALT増加, 血中ビリルビン増加, 疲労, 間質性肺炎, 心不全, 心電図QT補正間隔延長, 悪心, 嘔吐, 食欲不振, 口腔粘膜炎, 味覚異常, 下痢, 便秘, 湿疹, 手掌・足底発赤知覚不全症候群
【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 N Engl J Med 355:2733-2743, 2006. N Engl J Med. 367:1783-1791, 2012.

【点滴の時間】 -
【費用】 編集中
【その他】 対象患者: HER2+でアントラサイクリン, タキサン, トラスツズマブによる化学療法後の増悪もしくは再発例.
 カペシタビン投与量: BSA<1.36m²: 2400mg/日, 1.36m²≤BSA<1.66m²: 3000mg/日, 1.66m²≤BSA<1.96m²: 3600mg/日, BSA≥1.96m²: 4200mg/日.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	...	14	...	21
1	カペシタビン錠「日医工」	2000 mg/m ² /日	内服	1日2回朝夕食後	○	○	○		
2	タイケルブ錠 食事の1時間前から食後1時間を避ける	1250 mg/回	内服	1日1回	○	○	○	○	○